

医学・医療に関連する商業紙報道 見出し・概要 (平成22年4月1日～4月30日)

官公庁・医師会の医療政策		新聞	掲載面	掲載日
脳死の子どもからの臓器提供	厚労省臓器提供委員会28日 運用法案決める	朝日	37面	4.29
臓器提供病院 3分類で合意	厚労省の検討委(ガイドライン提示)	朝日	10面	4.20
日医、「政権寄り」選ぶ 新会長に原中氏	民主とのパイプ自負、政策実行力を強調 医療崩壊の阻止、課題 必要な医師数、独自試算も	朝日	2面	4.2

臨床研修制度・研修医

臨床研修で救急能力向上	厚労省研究班の調査。救急外来を想定した26場面で、正しい治療方法を六つの選択肢から選ぶ質問を、103人の臨床研修を修了した4～6年目の医師と105人の制度導入前に卒業し7～8年目の医師を対象に行った結果、前者の平均点は後者のそれよりも高かった。	読売	2面	4.18
-------------	--	----	----	------

治療法・薬

総合失調症、早めに治療	総合失調症のわずかな前駆症状をとらえることで、早期の治療を可能にしようという試みを、東京大学精神神経科の笠井教授らのチームが始めた。治療開始が早ければ薬物療法や認知療法の効果が高く、再発のリスクも少ないと期待される。	千日	13面	4.29
膵臓がん検査 EUS活用	超音波内視鏡(EUS)を活用して、膵臓がんの早期診断をおこなう検査が注目されている。CTなどでわかりにくい1センチ以下のがんでも確認できる場合が多く、入院せずにできる。	読売	夕9面	4.22
骨髄細胞 神経・皮膚・・・	東北大・京大抽出 「万能性」は不明	朝日	38面	4.20
膀胱がん治療薬 遺伝子で診断	膀胱がん治療の新しい手法を東大が開発。膀胱がん患者の遺伝子を分析して、その患者に最適な薬を予測するもので、4剤併用が効く14個の遺伝子の働きを点数化すると、9割の正確さで予測できるようになった。	読売	32面	4.19
卵巣がん治療前に「凍結保存」	順天堂大学の倫理委員会では16日、がん放射線治療などの副作用で起る不妊を防止するため、事前に凍結保存していた卵巣の一部を、治療後体内に再移植する治療法を承認した。	読売	34面	4.17
精神疾患 脳血流で診断	脳血流の変化を近赤外光脳計測装置(NIRS)で測定し、それぞれの病気に特有のパターンを判別する検査法が、全国7施設の共同研究でほぼ確立した。	読売	夕12面	4.8
難治性がん治療 放射線療法研究	難治の脳腫瘍などの治療に「ホウ素中性子補足療法」という特殊な放射線療法が京都大原子炉実験所などで研究され、生存期間の延長が認められると報告された。中性子を吸収すると細胞を破壊する別の放射線を出すホウ素の原理を用いた治療法。	読売	夕9面	4.8

医療事故・訴訟

田辺三菱製薬に業務停止命令	血液製剤の製造過程で、子会社のパイファが承認申請に必要な検査データを改ざんするなどの不正をしたとして、田辺三菱製薬とパイファに対し、薬事法に基づく処分として一部業務の停止を命じ、業務改善命令も出した。	千日	19面	4.14
投与ミス後に患者死亡	血液型Bの60代女性が救急搬送された大阪大病院で、O型の患者のために準備していた新鮮凍結血漿を誤って投与され死亡していることが分かった。病院側は大阪府警や大阪府に投与ミスを報告した。	千日	19面	4.9

危機管理

中国ギョーザ中毒 犯行の手口 初めて判明	日本側 証拠と合致 容疑者「梱包の外から注射」	産経	1面	4.3
心身に強い支障 2割強	JR宝塚線事故 遺族アンケート	朝日	37面	4.23
診断時に虐待チェック	大阪市の6施設 親の態度など確認 可能性は6段階評価	毎日	30面	4.11
毒ガス弾無害化処理地選定問題	旧日本軍の毒ガス弾(科学弾)と見られる砲弾が、稲毛区の農場で発見された。砲弾171発を無害化処理する施設の設計を年度内に行い、市内または県内で設置場所を選定する考えであると環境省、千葉県、千葉市などは示した。	千日	14面	4.11
千葉のガス弾で説明会	環境省 危険性はない	毎日	28面	4.11
たまゆら火災1年 教訓生かせぬ現状	国の動き鈍いまま (介護施設)命預かる場人材が不足 (介護)現場の苦悩続々	東京	11面	4.11

公害

水俣病救済 申請希望3万人に拡大	診断医師の確保(が)課題	朝日	33面	4.17
------------------	--------------	----	-----	------

新型インフルエンザ関連情報

新型インフル呼吸器障害	ぜんそくの子ども ステロイド薬有効	朝日	2面	4.25
季節性と比べ 異常行動1.5倍	脳症の子ども、けいれんの割合は下回る。厚生労働省調査。日本小児科学会で発表。	読売	2面	4.25
新型インフル手探り1年	休校判断自治体任せ 展覧会やコンサート 自粛要請の根拠なし 感染医師の補償 秋の第2波に備えを	朝日	3面	4.24
ワクチン早く効果切れる?	新型インフル 英社製 カナダが有効期限短縮	朝日	33面	4.17

医学・医療・科学情報

A型肝炎の患者増加	A型肝炎の患者が3月以降増加し、既に昨年一年間の患者数を越えたことが、国立感染症研究所の集計で分かった。今年の患者の報告数は3月上旬から増加し、4月18日までの速報値では昨年の報告数を越えた。魚貝類の十分な過熱など、注意を呼びかけている。	山日	18面	4.30
医療観光 受け入れ着々	外国人患者に高水準アピール がん手術、依頼はメール 通訳・ツアー業界動く	朝日	7面	4.26
乾癬の症状を改善する新薬の特徴	今年承認された点滴薬のレミケード(商品名)。免疫反応を抑えるため感染症に注意が必要。	読売	17面	4.25
女性ホルモン 自閉症に効果	オキシトシン(女性ホルモンの一種) 長期投与の臨床例初	東京	3面	4.24
健康診断で うつ病チェック	政府は、企業や事業所が実施する健康診断に精神疾患を早期に発見するための項目を盛り込む方針を固めた。総合的な自殺防止対策の一環として2011年度からの実施を目指す。	読売	1面	4.20
ウイルス性白血病 拡大	母乳から感染 妊婦検査徹底されず 関東90年比1.5倍	朝日	1面	4.19
好きな食事を口から	誤って気管に・・・危険防ぐ取り組み 半数が肺炎を発症	朝日	25面	4.17
女性の体形 45年調査	変化に法則	朝日	33面	4.16
薬の効果・副作用「中立評価伝えます」	医師・大学教授ら70人、NPO(「臨床研究適正評価教育機構」)を設立	朝日	25面	4.16

薄毛治療 5段階評価	皮膚科学会 薬や植毛10種類比較	朝日	30面	4.14
難病の多発性硬化症	インターフェロンと併用すると脳機能の傷害を起すため発売が中止となった「ナタリズマブ」が、他の免疫調整薬と併用しないなどの条件付で06年に発売が再開された。その後、再発率の低下などの効果が報告されて、40余りの国で承認され、約6万7千人の患者に処方された。日本でも治験が始まった。	千日	9面	4.11
CT診断 中国医師へ委託	患者の検査画像診断をインターネットを利用して外部に依頼する医療機関が、医師不足などの影響で増えている。格安サービスをうたう中国の医師への委託が一部で始まっている。	読売	夕1面	4.6

仕分け作業

研究法人「仕分け」あいまい	再編見据え 本質先送り 「ガバナンス強化」指導 方法は独法まかせ	朝日	19面	4.30
仕分け 42事業「廃止」	縮減は53事業 センター試験「国費頼るな」 農林漁業者融資 廃止 都心事務所「一元化」	朝日	7面	4.29
事業仕分け第2弾 2日目の判定	理研研究体制見直し 操縦士養成 削減検討	朝日	4面	4.27
仕分けの進化を見たい	社説 独立行政法人見直し	毎日	5面	4.24
独法仕分けに警鐘	研究統合は慎重に 重複が競争生むことも 事業より政策問え 一番の責任は政治家 質評価し民営化判断を	東京	26・27面	4.24
研究法人 問われる成果	13法人対象「仕分け第2弾」注目点 再編控え「役割」議論 「ダブリ」か「競争」か 東京事務所やり玉に？ 資金配分、効果的か	朝日	35面	4.23

その他

進めぬ契約の効率化	国立大の「民間開放度」初公開 内閣府調査(経営改善度を施設管理業務に注目し点検)	朝日	25面	4.26
都立府中病院 薬入札の怪	落札前に納入済み 業者「病院に従う」 官製談合の恐れも	朝日	39面	4.1

注記 1. 千日：千葉日報 山日：山梨日日新聞 2. 読売新聞の見出しや他の文章は著作権等があり掲載記事の文章とは異なるように配慮されております。 3. 日本経済新聞の記事は著作権等があり掲載していません。 4. 同一記事が複数の新聞で報道されている場合、可能な限り、最も詳しい内容ないし早い日付で報告されていたものを掲載するようにしております。